



都市の産業立地を公共的空間として再生するという課題に対し、歴史性や独自性の表現、都市生態系の充実、事業としての魅力づくりをテーマとし、産業の遺産を新しい空間資源として徹底して活用し、明治37年の創業以来企業文化を育ててきたこの地を次世代に受け継ぐノリタケの森として整備しました。

ネットワーク 明快な空間構成の構築

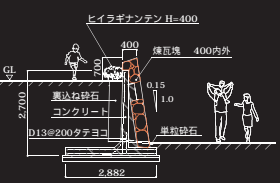
敷地中央に一列に並ぶ煙突群を、来場者にとってのエントランスゲートと位置付け、そこにロータリーとパーキングを隣接させました。また、施設同士をつなぐプロムナードはシンボルツリーの並木や水路により軸を強化するなど、わかりやすく回遊できる空間構成としました。敷地内の様々な既存の要素(神社、鎮守の森、記念碑、芝生、彫刻等)をランドスケープとして統合することで施設全体のイメージを強化しています。



せせらぎとメタセコイアの並木でプロムナード軸を強化



工場の解体で発生した大量の煉瓦塊



煙突断面図

ライフスタイル 森との関わり

ノリタケの森の豊かな自然の中で、音楽やアート、大道芸や芸術など、人と自然と文化の出会いを楽しむ機会を創造しています。

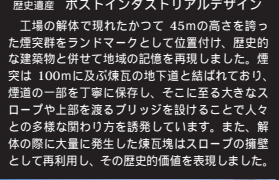
- ノリタケの森イベント
(ノリタケの森公園内) (土曜祭りと土曜朝市) (27/11/19(土))
- ・4月18日(日) 音楽祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) 音楽祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
- ノリタケの森イベント
(ノリタケの森公園内) (土曜祭りと土曜朝市)
- ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
- ノリタケの森 イベント
(ノリタケの森公園内) (土曜祭りと土曜朝市)
- ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))
 - ・4月18日(日) RICOH緑祭 (27/11/19(土))



噴水ひろば



施設間同士をつなぐ波状の緑道空間



歴史遺産 ポストインダストリアルデザイン

工場の解体で残ったかつて45mの高さを誇った煙突群をランドマークとして位置付け、歴史的な建築物と併せて地域の記憶を再現しました。煙突は100mに及び煉瓦の地下道と結ばれており、煙道の一部を丁寧に保存し、そこに至る大きなスロープや上部を渡るブリッジを設けることで人々の多様な関わり方を誘発しています。また、解体の際に発生した煉瓦塊はスロープの擁壁として再利用し、その歴史的価値を表現しました。



保存された煙突と煙道

ファロアップ 生態環境調査

都市生態系のネットワーク構築を目指して計画されたノリタケの森の緑地の効果を把握する為、整備前に掲げた目標種の出現確認調査を竣工1年後に行いました。(印が確認された種です)

種別	ノリタケの森	旧名	新名	旧名	新名	旧名	新名
キジバト	●	●	●	●	●	●	●
ツバメ	●	●	●	●	●	●	●
ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●
カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●
スズメ	●	●	●	●	●	●	●
ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●
ハシロガラス	●	●	●	●	●	●	●
ハシロコガラス	●	●	●	●	●	●	●
合計種数	7	8	7	8	7	8	8
アオスズメバチ	●	●	●	●	●	●	●
アミメグハ	●	●	●	●	●	●	●
ヤマトシジミ	●	●	●	●	●	●	●
キタガハ	●	●	●	●	●	●	●
キアゲハ	●	●	●	●	●	●	●
合計種数	3	2	3	5	4	6	6
トビ	●	●	●	●	●	●	●
ノスリ	●	●	●	●	●	●	●
合計種数	5	2	4	3	4	5	5



エコロジー 都市の森の創造

限られた敷地ですが、変生広場、大樹の樹林、常緑の森、ビオトープの池、陸水の森、フラワーガーデンなどをゾーン構成し、多様な環境空間による都市生態系の向上を図りました。その上で周辺緑地の生物相の把握、樹林密度の検討、地下水位の対策などを踏まえて植栽計画を進めています。更に、風を感じるデザインとしてススキやオアシメントグラスを採用し、この土地のもつひとつの風土の表現を試みました。



煉瓦窯と豊かな生態系を育むビオトープ



煙突広場



プロポテ

種別	ノリタケの森	旧名	新名	旧名	新名	旧名	新名
アキアカネ	●	●	●	●	●	●	●
ウスヤマトシジミ	●	●	●	●	●	●	●
シロヤマトシジミ	●	●	●	●	●	●	●
アキアカネ	●	●	●	●	●	●	●
合計種数	5	2	4	3	4	5	5

歴史



明治37(1904)年創業
写真は明治42(1909)年の開業時の状況。右側の煉瓦窯の工場は現在も当時の姿のまま

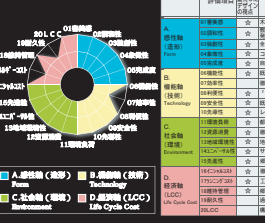


写真は昭和37(1962)年の鳥瞰写真
6本の煙突(45メートル)の足元約4haの工場群が広がっていたが昭和54年に一部を残し解体



写真は新幹線開業当時
新幹線開業から見た在りし日の6本煙突
現在のランドスケープとして残されていた

環境・設備デザインの評価



所在地: 愛知県名古屋西区則武新町
事業者: 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
設計: 大成建設株式会社
施工: 大成建設株式会社 名古屋支店
敷地面積: 44,960.00㎡
建築面積: 6,340.12㎡ (5棟合計)
延床面積: 14,082.73㎡ (5棟合計)

施設概要: ボックス/パレット、ステージ(ショップ)クラフトセンター(博物館・見学施設)セラボ(企業紹介展示)CANVAS(博物館)レストラン、ギャラリー
フラワーガーデン、煙突広場、噴水ひろば、煉瓦瓦屋根、ケヤキ広場、陸水の森